



8-channel Microphone Preamp

MP8D

オーナーズマニュアル

目次

1. 製品を安全にご利用いただくために	5
2. はじめに	6
3. 主な仕様	7
4. インストール	8
5. フロントパネル	9
6. リアパネル	10
7. ソフトウェアコントロールパネル	12
7.1. ルーティング画面・メインオプション画面	12
7.2. ミキサー画面	14
7.3. AFX画面	16
7.4. メーター画面	17
8. 追加情報	18
9. 同梱品	18
10. 技術仕様	18

1. 製品を安全にご利用いただくために



！感電・災害などのリスクを減らすためにご一読ください

- ネジを外したり、カバーを開けないでください。ユーザーご自身で修理できるパーツはありません。修理や調整が必要な場合はテクニカルサポートまでご連絡ください。
- 水にぬれる可能性がある場所や湿度の高い場所にさらさないでください。
- 万が一異物や液体が製品に侵入した場合は直ちに電源を落とし、コンセントを抜いてください。異物や液体が完全に取り除かれるまでは使用を控え、お困りの場合はメーカーまでご連絡下さい。
- 濡れた手で電源ケーブルに触れないでください。
- 電源ケーブルを抜き差しする場合は、必ず本体の電源ボタンを落とした状態で行ってください。
- 本製品の上に物を置かないでください。また、本機は周辺機器の動作に影響を与えそうな狭く換気の乏しい場所での使用はしないでください。本製品の換気口を塞ぐことのない様、ご注意ください。
- 故障が起きたときはまず電源を落としてから、電源ケーブルを抜いてください。自身で修理しようとせず、テクニカルサポートまたはディーラーまでご連絡ください。
- 暖房器具からの熱風が直接あたる場所やパワーアンプの近くには設置しないでください。
- 本製品の電源を入れる前に全ての機器を接続してください。
- 本製品の電源ケーブルはアースが接続されています。アースを取り付けずに本製品を使用しないでください。
- AC電源サプライのケーブルは人が踏んでしまう様な場所や、他の物が上に乗ってしまふことのない様な場所に設置、接続する様にしてください。
- 本製品の電源を完全に切る場合は、まずコンセントを外してから本体の接続口から電源ケーブルを抜いてください。
- ヘッドホン、モニターを通して頻繁に、または長時間高い音量・音圧に耳を晒してしまうと聴覚器官の損傷の恐れがありますので、くれぐれもご注意ください。
- 持ち運び、搬送の際には必ず本機をラックから外してお持ちください。
- お掃除の際には強い化学製品は使用せず、電子機器専用のクリーナーをご利用になってください。
- 本機は下記の温度環境で動作するように設計されています：
0-50 ° C, 32-122 ° F

2. はじめに

このたびはAntelope AudioのMP8dをお買い上げいただき、ありがとうございます。

8チャンネルのクリアなワールドクラスマイクプリアンプをコンパクトな1Uラックスペースに。MP8dにはAntelope Audioの誇るトップクラスのA/D変換が組み込まれています。この古典的な鮮さを持ちながら現代的な高精度を特徴とするコンバージョンはAntelopeの名高いアコースティック・フォーカス・クロッキング(AFC)、オープンコントロール水晶オシレーター、先進的なデジタル・アナログ回路設計、そして専用の電源サプライなどの技術が採用されているからこそ可能となります。

MP8dにはOrion32とZen Studioにも採用されている高度な設計の施された、簡単に操作可能なソフトウェアコントロールが採用されています。8系統の透明感のある精度の高いデジタルコントロール・クラスAマイクプリアンプと2つのHi-Z入力が搭載されているMP8dは、さらに、A/D変換と慎重に最適化されたアナログドライバーとともに、DSPエンジンとミキサーが組み込まれ、内臓エフェクト、直感的な信号のルーティング、HPモニタリングなどの機能が充実しています。MADI、AESなどのデジタル接続も有し、柔軟性の高い接続性を持ちます。2つのワードクロック出力とAntelopeの名高いクロッキング技術、そしてアトミッククロック専用10MHz入力により、どのようなプロジェクトやハイエンドスタジオでもMP8dは中心となり活躍することができる1台です。

ライブ、スタジオ問わず幅広い環境に対応するこの最先端のレコーディング機器はAntelope Orion32との抜群の組み合わせでもあります。

MP8dはAntelopeが現在展開を広げているeco-systemコンセプトに基づいて開発された最新製品です。

では、MP8dで思う存分お楽しみください！

Antelopeチームより

3. 主な仕様

- 8チャンネルクラスAマイクプリアンプ・個別ファントム電源
- 2チャンネルHi-Zインストゥルメント入力
- 8チャンネルDSUB-25ダイレクトマイク入力
- 8チャンネルAntelope Audio精密AD変換技術
- 個別アサイン可能ステレオヘッドホン出力
- 多種類のデジタル出力- MADI、ADAT、AES/EBU、S/PDIF、TOSLINK
- 柔軟性の高いルーティング、ミキシング、低レイテンシーのカスタムDSPエフェクト
- 64bitアコースティックフォーカスクロッキング技術・アトミック入力
- 超高精度クロッキングを可能とするオープンコントロールオシレーター
- 2つのワードクロック出力、1つのワードクロック入力
- 5つのプリセット機能で簡単なセットアップが可能

4. インストール

1. リアパネル接続部より電源ACを本体に接続し、USBケーブルでお使いのPCと接続をしてください。OSがMP8dを認識します。
2. www.antelopeaudio.com/en/support/downloadsよりMP8dのソフトウェアコントロールパネルをダウンロードし、インストールしてください。
3. コントロールパネルのアイコンをクリックして開き、手順に従って起動してください。
4. MP8dに使用する入出力を接続してください。

注意: 常に最新のファームウェアにソフトウェアをアップデートして使用してください。オプションパネルを選択し、ファームウェアアップデートボタンをクリックする事で最新のファームウェアが確認できます。画像を参照:



5. フロントパネル



1. 電源ボタン
スタンバイ/起動の切り替えができます。
2. Hi-Zインストゥルメント入力
2つのHi-Z入力はいんピーダンス楽器を直接¼TRSコネクターから接続できます。Hi-Zは楽器用に最適化された入力です(例:ギター、ベース等)。
3. コントロールダイヤル-入力選択/チャンネルゲイン調整
ダイヤルを押すと入力を選択されます。(選択した種類がチャンネルに入力されている信号の種類と同じことを確認してください*。)

*マイク入力を選択された場合LEDが緑色に点灯します。ライン入力の場合は青色に、Hi-Zの場合は白色に点灯します。)

マイク/ライン/Hi-Z(1・2チャンネルのみ)入力信号レベルの調整はダイヤルを左右に回すと行えます。

(1dB単位で調節可能です。)

入力信号のレベルに応じてピークインジケーターが点灯します。

4. ヘッドホン出力
幅広いインピーダンスのヘッドホンに対応する¼TRSヘッドホンジャック。
 5. ヘッドホン音量コントロールダイヤル
フロントパネルヘッドホン出力のヘッドホンアンプのレベルを調整できます。(-95dBから0dBまで)
- ダイヤルを押すとミュートできます。

6. リアパネル

6. 電源ソケット

AECコネクター。の対応電圧は95～245Vです。全世界において主要の電圧に対応しているためどこでも動作できます。

7. ワードクロック入力

ワードクロック対応のBSCコネクター。

8. ワードクロック出力

ワードクロック対応の2つのBSCコネクター。



9. 10M入力

このBNCコネクターを通してAntelope 10Mなどのようなアトミッククロックを接続することで、オシレーターの精度を向上させます。アトミッククロックを基準とすることでサンプル精度の高く、より詳細な音質、また安定したオーディオ環境が得られます。

10. S/PDIF出力

75 Ω S/PDIF規格のS/PDIFコネクター。

11. TOSLINK出力

ジッター除去のされたTOSLINK光学(オプティカル)デジタル出力。

12. ADAT出力

2系統のADAT出力(コネクター1系統ごとに8チャンネルまで対応可能)。

13. 高速USB

MP8dのUSB Type-B規格コネクターを通してお使いのWindows/Mac OS Xと接続することによりソフトウェアコントロールパネルが使用できます。

14. MADI入力/出力

64トラック分の入力と出力に対応するMADIコネクター。

15. AES/EBU

AES/EBU出力。

(DE-9 / DB-9コネクターに対応、4つのXLRへ分岐します。ケーブルは梱包品に含まれていません。)

16. D-SUB 25pin TASCAMアナログ出力x4

分岐ケーブルを使用すると各D-SUB端子から8チャンネルの出力ができます。

17. ADインサート

この2つの¼TRSインサートを使ってダイナミクスプロセッサーやEQなどの機材を、A/D変換の前の段階で通すことができます。

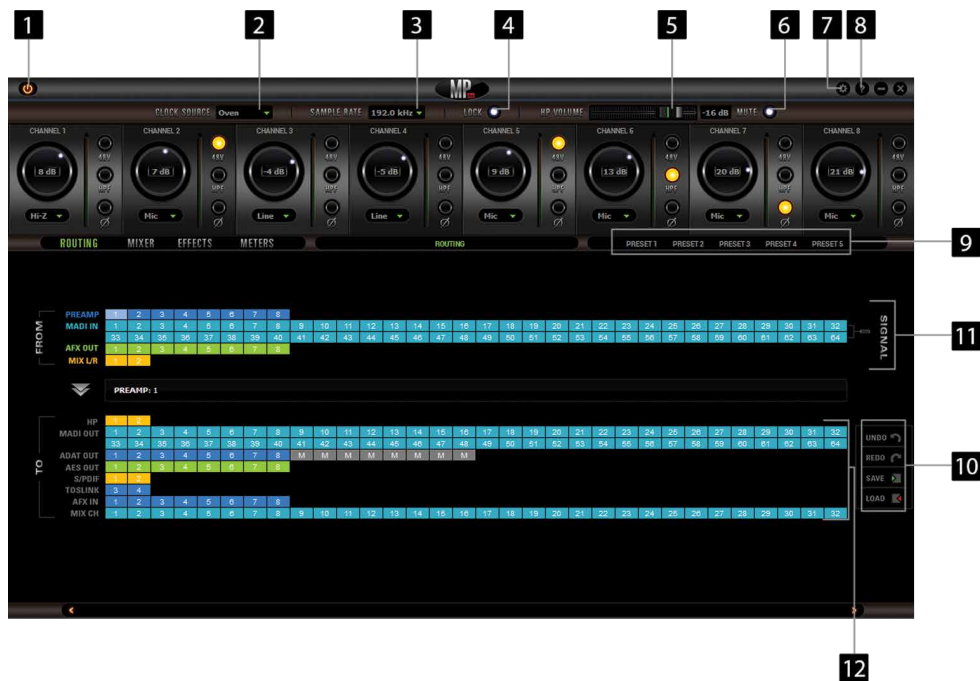
18. 8チャンネル・ライン/マイクプリアンプ入力

8チャンネルのクラスAマイクプリアンプ、XLRコンボコネクターはファンタム電源搭載。

注意: フロントパネルのHi-Z入力使用時は、リアパネルのチャンネル1・2は無効化されます。

7. ソフトウェアコントロールパネル

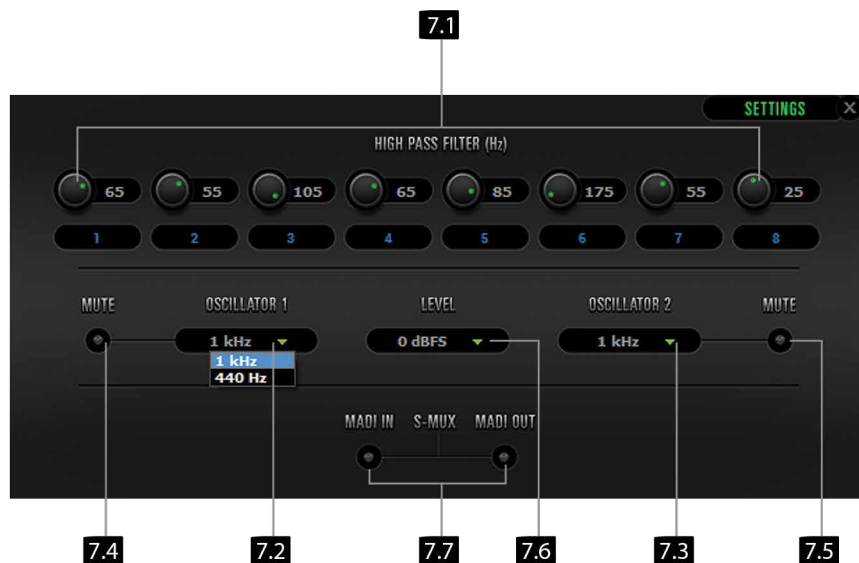
MP8dのソフトウェアコントロールパネルからはハードウェア上のすべての操作が可能です。ユニバーサルパネルは常に画面の上半分に表示され、主要の操作はここからアクセスします。



7.1. ルーティング画面・メインオプション画面

1. 電源スタンバイボタン
2. クロックソース選択
3. サンプルレート選択
4. ロック機能
5. ヘッドホンボリューム
6. ヘッドホン(HP)ミュートボタン

7. オプション画面(切替ボタン)



7.1. フィルターコントロール(各チャンネルのハイパスフィルター周波数を設定できます)

7.2. / 7.4. オシレーター1・ミュート

7.3. / 7.5. オシレーター2・ミュート

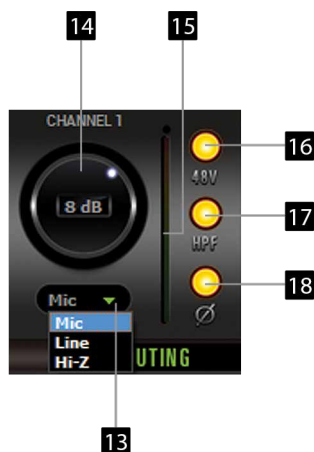
7.6. オシレーター出力レベル

7.7. MADI入力(S-Mux) / MADI出力(S-Mux)

8. システム情報画面



9. プリセット呼び出し
10. ルーティングundo/redo・セットアップのセーブ/ロードボタン
11. “To”設定
12. “From”設定



13. マイク/ライン/Hi-Z(1・2チャンネルのみ)選択メニュー。(選択した種類が実際に入力されている信号の種類と同じことを確認してください。)
14. チャンネルゲイン(1dB単位で調節可能)
15. ピークメーター
16. 個別アサイン可能48Vファンタム電源スイッチ
17. ハイパスフィルター
18. フェイズリバースボタン

7.2. ミキサー画面

MP8dにはソフトウェアミキサーが付属し、レイテンシーのないミックスとモニタリングが可能であり、コントロールパネルを通して低レイテンシーのミックスをお好みの出力へ流すことができます。

低レイテンシーミキサーは実際のミキサー同様の操作が可能であり、ソロ・ミュート・パン・ステオリンク・フェーダーやマスターフェーダーを使用したボリュームコントロールなどの操作から簡単にステレオミックスが制作できます。



1. フェーダー(ダブルクリックで0へリセット)
2. フェーダーレベル表示
3. パン
4. ソロ
5. ミュート
6. ステレオリンク
7. マスターミックスフェーダー
8. マスターミュート

7.3. AFX画面



EQ

1. 周波数設定ダイヤル(ダブルクリックでデフォルト値)
2. ゲイン設定ダイヤル(ダブルクリックでデフォルト値)
3. Q設定ダイヤル(ダブルクリックでデフォルト値)
4. / 7. バンドEQ表示スクリーン
5. セーブ/ロード/バイパス
6. EQ出力メーター
7. 周波数帯域解析スクリーン
8. ハイパス/ハイシェルフフィルター
9. バンドパス/ノッチフィルター
10. ローパス/ローシェルフフィルター

コンプレッサー

11. ディテクター
12. 比率
13. ニー
14. スレッシュホールド
15. リリース
16. アタック
17. メイクアップ(ゲイン)
18. コンプレッションメーター
19. コンプレッションカーブ

7.4. メーター画面



1. ピークメーター画面(メニューからメーター表示を希望するソースが選択できます。)
2. ピークメーターソース選択メニュー

8. 追加情報

OSの追加情報やファームウェア、メディアプレーヤーのアップデートは弊社ホームページのサポートをご覧ください。www.antelopeaudio.com

9. 同梱品

- MP8dマイクプリアンプ・A/D本体
- オーナーズマニュアル
- 保証書
- USBケーブル x 1本
- AC電源アダプター

10. 技術仕様

アナログ入力:	8チャンネルマイク/ライン、XLRコンボジャック入力 Hi-Zインストゥルメント対応TRS入力(フロントパネル) x 2 /(マイクインプットチャンネル1・2使用)
アナログインサート:	TRS入力 x 2 (インプット1・2)
アナログ出力:	D-SUB25端子よりライン8チャンネル分 ステレオヘッドホンTRS出力 x 1 (2チャンネル)
デジタル入力:	MADI x 1
デジタル出力:	MADI x 1 ADAT x 2 S/PDIF x 1 TOSLINK x 1 AES/EBU x1 DB9コネクター (XLRコネクター4本・ケーブル別売り)
USB I/O:	高速USB2.0、Type-B端子 ソフトウェアコントロールパネル用
ワードクロック:	ワードクロック入力 x 1-75Ω 3Vpp BNC端子(32kHz最大192kHz) ワードクロック出力 x 2-75Ω 3Vpp BNC端子(32kHz最大192kHz)
マイクプリアンプ:	EIN 129dB

A/Dコンバーター:	ダイナミック幅122dB THD+N -105dB
クロック仕様:	第4世代アコスティックフォーカスクロッキング 64bitDDS オープンコントロール水晶オシレーター
クロック精度:	<+/-0.02 PPM、オープンコントロール64.5° C/148.1° F
クロック誤差:	< 1 ppm / 年
クロック校正精度:	< +/-0.001 ppm
アトミッククロック入力:	10MHz - 1Vpp BNC端子
サンプルレート(kHz):	32、44.1、88.2、96、176.4、192kHz
電源サプライ:	AC電源(共通入力) 95-245V / 最大20W
動作温度:	0-50° C、32-122° F
重量:	約3.3kg、7.28lb
寸法(本体):	幅:483mm/19" 高:44mm/1.75" 奥:230mm/9.1"